

2021年3月期決算説明資料

＜補足説明資料＞
運輸成績及び事業計画等



東京地下鉄株式会社
2021年5月14日

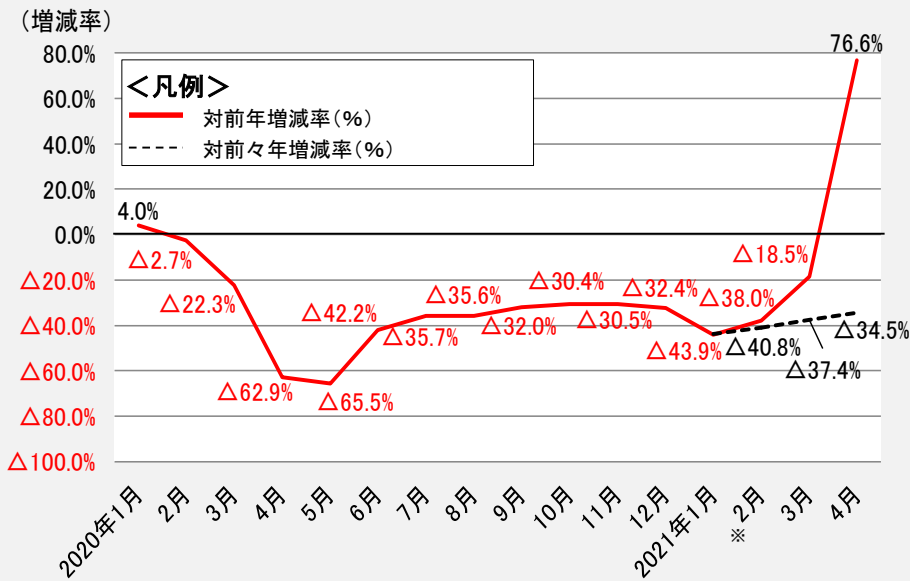
運輸成績 トピックス①

定期・定期外合計及び定期（平日）のご利用において、
新型コロナウイルス感染症による影響（月別）が見られました。

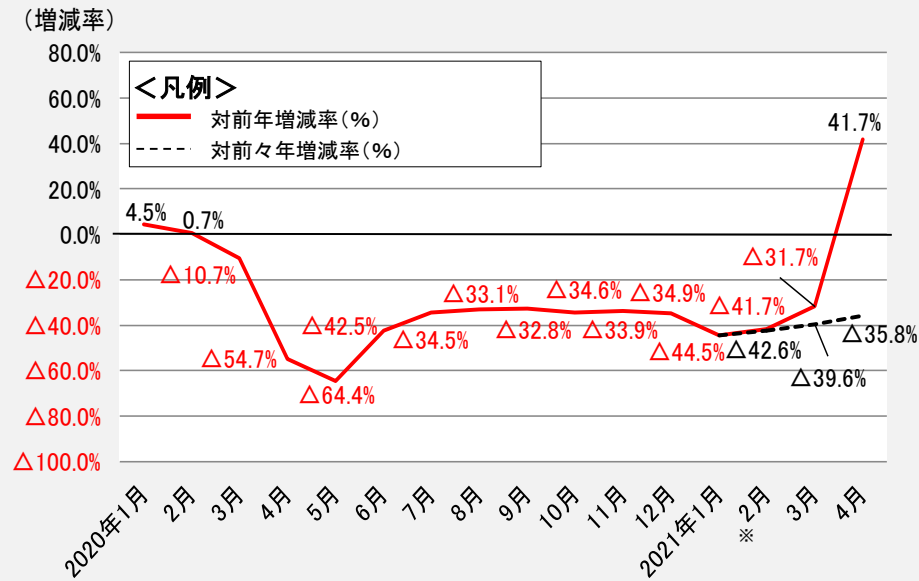
全線における自動改札機データ（定期・定期外合計及び定期 月別）

- 平日の定期・定期外合計出場枚数及び定期出場枚数につきましては、緊急事態宣言があった2020年4月から5月において大幅に減少（定期・定期外合計 最大△65.5%、定期 最大 △64.4%）しました。その後減少幅が縮小し、7月以降は横ばい傾向が続いておりましたが、再度の緊急事態宣言があった2021年1月には再び減少幅が拡大しました。2月以降は、対前々年比で減少幅が縮小しております。

平日（定期・定期外合計） 出場



平日（定期） 出場



※2020年2月以降に新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、2021年2月以降は対前年、対前々年増減率を併記

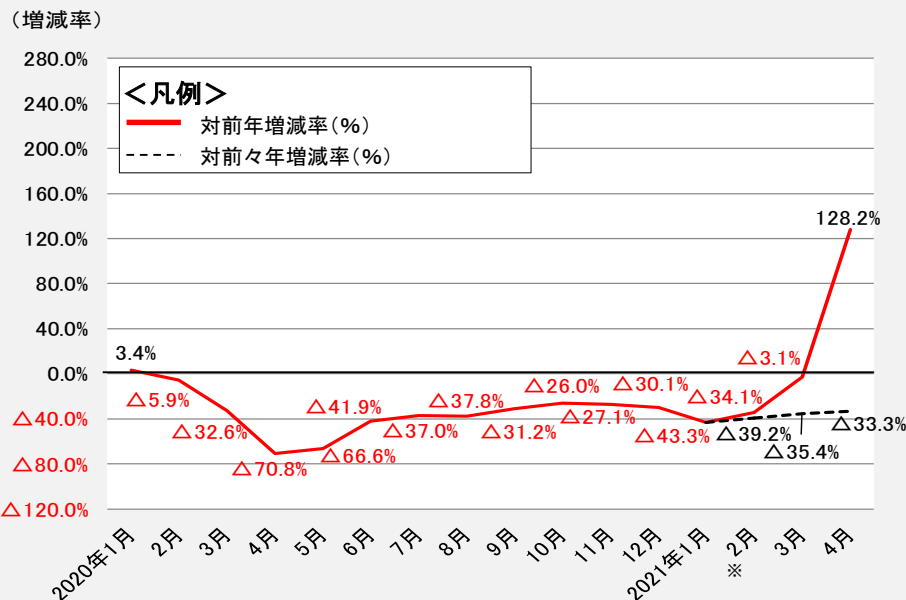
運輸成績 トピックス②

定期外（平日及び土休日）のご利用において、 新型コロナウイルス感染症による影響（月別）が見られました。

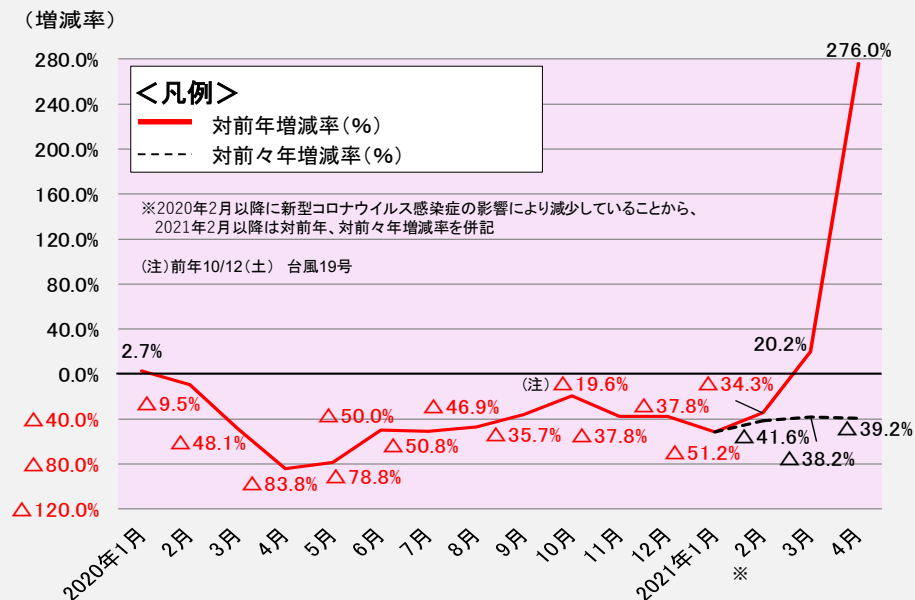
全線における自動改札機データ（定期外 月別）

- 平日及び土休日の定期外出場枚数につきましては、緊急事態宣言があった2020年4月から5月において大幅に減少（平日最大 △70.8%、土休日最大 △83.8%）しました。6月以降は平日・土休日ともに減少幅が縮小傾向にありましたが、11月以降は平日・土休日ともに減少幅が拡大傾向に転じ、再度の緊急事態宣言があった2021年1月には、さらに減少幅が拡大しました。2月以降は、平日においては、対前々年比で減少幅が縮小している一方、土休日においては、まん延防止等重点措置、3回目の緊急事態宣言があった4月に減少幅が若干拡大しております。

平日（定期外） 出場



土休日（定期外） 出場

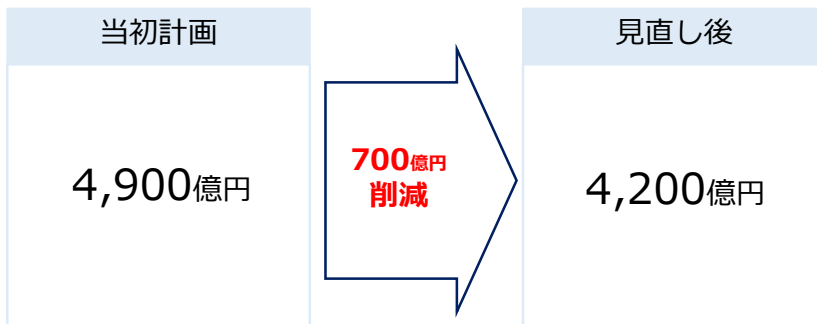


設備投資 ・営業費用 削減の取組み

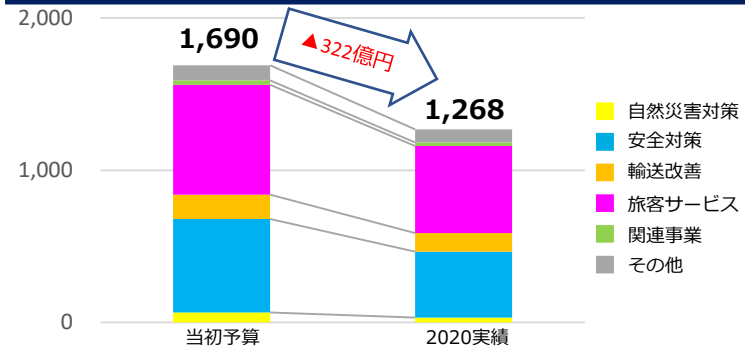
安全の確保を前提としつつ、優先順位や仕様、時期等を見直したことにより、
設備投資・営業費用の削減に取り組みました。

➤ 設備投資 (連結)

現中期経営計画3か年 (2019年度～2021年度) 合計額



2020年度設備投資額 (単位：億円)



安全の確保を前提としつつ、優先順位や仕様、時期等を見直したことにより、現中期経営計画3か年の合計で700億円削減を図り、2020年度実績については1,268億円となりました。

➤ 営業費用 (単体)

(単位：億円)

費目	2019年度決算 (2020年3月期)	2020年度決算 (2021年3月期)	増減額
全事業営業費	3,218	3,139	▲79
鉄道事業営業費	3,138	3,059	▲78
人件費	917	901	▲15
経費	1,312	1,224	▲87
諸税	120	108	▲11
減価償却費	787	824	36
関連事業営業費	79	79	0

安全の確保を前提としつつ、優先順位や仕様、時期等を見直し、営業費用の削減に努めました。

特に、委託費や広告宣伝費の見直しによる経費の削減のほか、賞与の削減等による人件費の削減を行いました。

2020年度 設備投資実績

2020年度は、安全の確保を前提とした削減を実施しつつ、安全対策をはじめとして1,268億円の設備投資を実施しました。

環境対策・その他

- ・環境対策（LED照明化等）
- ・社内情報システム改良
- ・職場環境整備 等

85億円

32億円

大規模浸水対策、震災対策 等

【2020年度末時点での進捗率】

- ・高架橋柱補強工事 **100%**
- ・大規模浸水対策（駅出入口） **50%**

自然災害対策



▲大規模浸水対策工事前 ▲大規模浸水対策工事後

関連事業

- ・Echikafit銀座リニューアル
- ・有楽町メトロピア、大手町メトロピア開業
- ・個室型ワークスペース『CocoDesk』設置拡大 等

24億円

総額の約36%を自然災害対策・安全対策に投資

433億円

- ・新型車両の導入
- ・ホームドア整備
- ・信号保安設備改良 等

安全対策



▲ホームドア（日比谷線上野駅）

【2020年度末時点でのホームドア整備率】

- ・全線 **82%**
- ・日比谷線 **23%**
- ・東西線 **43%**
- ・半蔵門線 **79%**

※その他路線は全駅設置済

旅客サービス

- ・バリアフリー設備整備
- ・駅のリニューアル（銀座線各駅等）
- ・日比谷線虎ノ門ヒルズ駅開業
- ・自動旅客案内装置改良（異常時4言語対応完了）
- ・THライナー運行開始 等

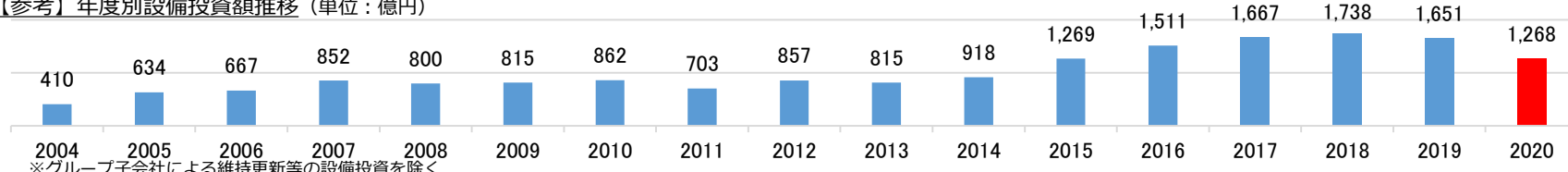
572億円

120億円

- ・東西線の輸送改善、南北線8両化 等

輸送改善

【参考】年度別設備投資額推移（単位：億円）



▲丸ノ内線四ツ谷駅太陽光発電システム

▲Echika fit 銀座

▲銀座線日本橋駅リニューアル後

ポストコロナを見据えた取組み

ポストコロナにおける社会・行動変容を見据え、「選ばれる鉄道会社」となるため、「安心な空間」「パーソナライズド」「デジタル」の3つのキーワードを設定し、鉄道事業の需要創出、駅・まち一体となったゆとりある空間の整備、MaaSなどに引き続き取り組んでいます。

～安心で、持続可能な社会へ～

(サステナビリティ重要課題(マテリアリティ))

「選ばれる鉄道会社」

- : 3つのキーワード
- : 2021年度の取組み

安心な空間

- 自然災害対策
- ホームドアの整備
- 新型車両の導入
- 駅構内や車内の消毒・抗菌
- 混雑時間帯を避けたご利用の分散
- 視覚障がい者向けナビゲーションシステム『shikAI』の提供
- 駅・まち一体となったゆとりある空間の整備
- 個室型ワークスペース等

パーソナライズド

- 大都市型MaaS『my! 東京MaaS』によるサービス展開
- 『東京メトロmy!アプリ』への機能追加
- メトポを活用した取組み (デイトタイムポイントの新設、休日メトロ放題のトライアル)
- 東京の都市内観光『CityTourism』需要を創出する取組み

デジタル

- 列車混雑計測システムの活用
- 車両情報監視・分析システム (TIMA) の活用等CBMIに関する取組み
- デジタルを活用した業務変革等

3つのキーワード に関する施策①

ポストコロナを見据え設定した3つのキーワードのうち、「安心な空間」として各種施策を推進しています。

安心な空間

▶新型コロナウイルス感染症の感染対策

2020年度中に駅構内・車両内への抗ウイルス・抗菌処置を完了したほか、車内空気循環ファンの試験設置を実施しました。今後も、空調と併せての車内の窓開け換気、駅構内設備等の消毒などを実施します。



▲車内抗ウイルス・抗菌処置イメージ



▲駅構内消毒イメージ

▶視覚障がい者向けナビゲーションシステム『shikAI』

リンクス株式会社（Tokyo Metro ACCELERATOR 2016採択企業）の開発に協力した、視覚障がい者向けナビゲーションシステム『shikAI』について、2021年3月末までに視覚障がい者の方のご利用が多い、副都心線西早稲田駅等合計9駅での運用を開始いたしました。ご利用状況を考慮しながら、対象駅の拡大についても検討していきます。



▲shikAIイメージ等 ※iPhoneはApple, Inc.の登録商標です。



▶新型車両の導入

車内の快適性、省エネルギー性の向上や、車両低床化によるホームとの段差解消を図る新型車両を導入しています。また、プラットホーム先端部にて実施している隙間対策と合わせ、段差・隙間の解消を進めています。

なお、半蔵門線向け18000系車両については、2021年度上半期での導入を予定しています。



▲有楽町線・副都心線（17000系）



▲半蔵門線（18000系）イメージ

▶駅・まち一体となった空間の整備及び駅構内の活用

小田急電鉄株式会社と連携し、新宿駅西口地区において、駅とまちの連携を強化する重層的な歩行者ネットワークやにぎわいと交流を生み出す滞留空間の整備、災害時の帰宅困難者支援等による防災機能の強化、最新技術の導入等による環境負荷の低減に取り組むなど、今後も、駅・まち一体となったゆとりある空間を整備していきます。

また、地方の活性化に寄与するとともに、地方創生につながる取組みとして、銀座駅構内（B2出入口付近）で地方自治体実施する『ふるさとPRイベント※』を年間を通じてサポートしています。

※ふるさとPRイベント：観光PR、物産展、Iターン・UターンのPRなど



▲新宿駅西口地区再開発イメージ



▲『ふるさとPRイベント』開催時

3つのキーワードに関する施策②

ポストコロナを見据え設定した3つのキーワードのうち、「パーソナライズド」「デジタル」として、各種施策を推進しています。

パーソナライズド

▶東京メトロmy!アプリへの機能追加

大都市型MaaSのサービス展開として、東京メトロ全9路線の混雑状況及び他鉄道路線の混雑状況をもとに『混雑を避けるルート』を提案する機能や、お客様の移動のしやすさを追求することを目的とした『駅構内ナビゲーション』の提供を、都営地下鉄と連携して3月24日に開始したほか、新技術『列車混雑計測システム』を活用した混雑の見える化に向けた機能の追加を2021年度上半期に予定しています。

▶メトポを活用した施策

混雑時間帯を避けた平日日中のご利用がお得になる取組みである『デイトタイムポイント』の新設のほか、比較的空いている土日・祝日にお得にお出かけいただける『休日メトポ放題』のトライアルを2021年秋に実施します。

▶東京の都市内観光「City Tourism」需要の創出

東京の都市内観光『City Tourism』需要を創出する取組みの一環として『Tokyo Subway Ticket』と東京スカイツリー®展望台入場券のセット発売（オンライン）を2021年度に開始するとともに、都市内観光施設等との提携を推進していきます。

デジタル

▶列車混雑計測システムの活用

上野グリーンソリューションズ株式会社と共創し、列車の駅出発時に車両側面をデブスカメラで撮影し、列車混雑状況を人工知能（AI）に機械学習させることにより列車ごとの混雑状況をリアルタイムで計測する新技術を開発しました。

▶車両情報監視・分析システム（TIMA）の活用

更なる安全安定運行の実現や、車両機器状態を基準とした状態基準保全（CBM）による車両検査の深度化・効率化の実現のため、三菱電機株式会社と共創し開発したTIMA※の新機能である「故障予兆検知システム」を一部車両機器を対象に、一部系統の車両に2020年度から導入しています。

※TIMA：Train Information Monitoring and Analysis system

▶デジタルを活用した業務変革等

デジタルを活用した業務変革を目的として、CBMによる安全・安定輸送の維持・向上や、メンテナンスの効率化、RPA（ロボットによる業務自動化）のほか、社員のデジタルリテラシー向上を図るため全社員へのデジタル教育等を実施しています。



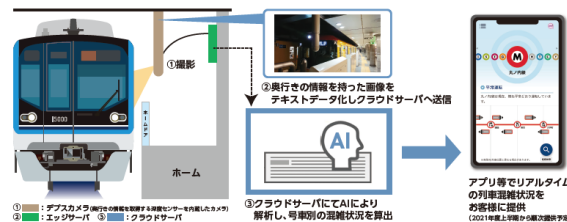
▲駅構内ナビゲーションイメージ



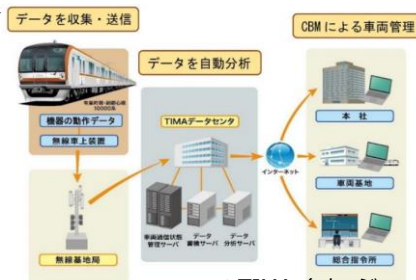
▲休日メトポ放題イメージ



▲City Tourismのロゴマーク



▲列車混雑計測システムイメージ



▲TIMAイメージ

eスポーツジム 開業

赤羽岩淵駅3番出入口地上部に
「eスポーツジム」をオープンいたします。

- ゲシピ株式会社（「Tokyo Metro ACCELERATOR 2019」採択企業）と協業し、プロeスポーツチームやプロeスポーツ選手によるレッスンを受講できる日本で初めての「eスポーツジム」を開業いたします（ゲシピ株式会社と3月に資本業務提携済）。
- 既存のeスポーツ施設にはない、月額会員制でのジム店舗の利用に加え、オプションで店舗又はオンライン上でeスポーツプロプレイヤーからレッスンが受けられるサービスを提供します。初心者から上級者まで、プロの指導による本格的なeスポーツのトレーニングが可能で、多くの方が楽しめるスポーツであるeスポーツを通して「東京の魅力・活力の共創」を実現していきます。

ジム詳細等

(1) 名称等

eスポーツジム 赤羽岩淵店 （南北線赤羽岩淵駅3番出入口地上部すぐ）

(2) 施設コンセプト・概要等

「明るく、健康的で、誰でも入りやすいeスポーツ施設」をコンセプトに、eスポーツを楽しむ方がオープンで心地よく過ごせる場所をイメージした施設です。既存のeスポーツ施設にはない、プロプレイヤーからレッスンを受けられるサービス等により、どなたでも自分にあった利用方法でeスポーツのトレーニングが可能です。国内eスポーツの裾野を拡大し「いつでも誰でもeスポーツを真剣に楽しめる世界の実現」を目指し、様々なサービスを提供します。

(3) 会員種別

種別	会費	その他
通常会員	5,500円/月額 で利用し放題 ※1日連続3時間の予約制限あり	オプションにより、プロeスポーツチーム及びプロeスポーツ選手によるレッスンを受講可能
都度会員	1,430円/1回 で3時間利用可能	—

※その他、eスポーツプロ選手を目指す上級者向けのコースもご用意いたします。

(4) 新型コロナウイルス感染症の感染対策

新型コロナウイルス感染症の感染対策として、従業員及びお客様の検温・消毒・マスク着用の徹底や、座席利用終了後の機材の消毒、座席ごとのアクリルガードの設置、定期的な換気を実施します。

今後の予定

- ・ 赤羽岩淵店での利用状況を踏まえ、提供サービス内容の拡充および多店舗展開を検討
- ・ 東京メトロ独自のeスポーツ大会を開催し、eスポーツ事業のさらなる拡大を検討



▲eスポーツジム外観



▲eスポーツジム内観

Tokyo Metro Academy 無料講座開催

海外の鉄道関係者を対象としたオンライン講座
「Tokyo Metro Academy」の開講に向けて、
2021年6月に「無料オンライン講座」を開催いたします。

- 海外の鉄道関係者に対して、これまでの地下鉄の運営を通じて得た旅客鉄道事業に関するオペレーションやメンテナンスの実施、関連事業の展開等の幅広い分野に関する経験や知識を共有することにより、今後の業務に活用していただくことを目的としています。
- 2021年6月に無料オンライン講座を開催し、今後開講を検討している有料オンライン講座の各コースの概要を海外の鉄道関係者にご紹介します。

▶ タイムテーブル

トピック	内容（予定）
運転	混雑路線における定時性の改善、総合指令所の異常時対応
営業	お客様の声に基づいたカスタマーサービス、混雑対策
工務	保守へのデジタル技術活用、路線・駅の大規模改良
車両	走行安全性、省エネルギー
電気	ホームドア、総合指令所のシステム切替、省エネルギー
安全	安全・事故災害対策、総合訓練等
人財育成	総合研修訓練センターを拠点とした人財育成
事業開発	駅商業施設ビジネス
海外事業	鉄道事業者の人材育成支援
ディスカッション、質疑応答、アンケート	



▲Tokyo Metro Academyパンフレット

▶ 実施日時（各日同内容を説明）

…各時間帯受講推奨時間

標準時		日程	2021年6月15日 (アジア時間帯向け開催)	2021年6月22日 (欧州・アフリカ・中東時間帯向け開催)	2021年6月29日 (北中南米時間帯向け開催)
日本標準時	UTC+9 ※		15:00 - 17:00	20:00 - 22:00	7:00 - 9:00
中央ヨーロッパ夏時間	UTC+2		8:00 - 10:00	13:00 - 15:00	0:00 - 2:00
東部夏時間	UTC-4		2:00 - 4:00	7:00 - 9:00	18:00 - 20:00 (6月28日)

※UTC：協定世界時